

令和6年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果と分析について

令和7年2月 登別市教育委員会

I 調査の概要

1 調査の目的

- 子どもの体力・運動能力、運動習慣や生活習慣等を把握し、分析することにより、子どもの体力・運動能力、運動習慣等の向上に係る施策の成果と課題を検証し、改善を図るとともに、取組を通じて、子どもの体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 各学校が児童生徒の体力や、運動習慣や生活習慣等を把握し、学校における体育・健康等に関する指導などの改善に役立てる。

2 調査対象学年

小学校第5学年、中学校第2学年

3 調査の内容

① 児童・生徒に対する調査

ア 実技に関する調査（測定方法等は新体力テストの方法による。）

〔小学校8種目〕握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

〔中学校8種目〕握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、持久走（男子1500m、女子1000m）又は20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ハンドボール投げ

イ 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問調査

② 学校に対する質問紙調査

ア 子どもの体力・運動能力等の向上に関する取組等の調査

イ 実施状況に関する調査

4 調査期間

令和6年4月から7月までの期間で実施

5 調査の実施状況（公立学校）

	小学校		中学校	
	学校数（校）	児童数（人）	学校数（校）	生徒数（人）
全国	18,609	969,223	9,306	814,437
北海道（札幌市を含む）	955	36,664	591	33,687
登別市	8	290	5	246

6 用語解説と説明

体力テスト種目		単位	体力要素	測定
①	握力	kg	筋力	左右握力の平均値
②	上体起こし	回	筋パワー・筋持久力	30秒間に上体を起こした回数
③	長座体前屈	cm	柔軟性	長座位で前屈したときの両手の前方への移動距離
④	反復横跳び	点	敏捷性	20秒間に両脚で左右速報に反復跳躍した回数
⑤ 1	持久走（中学校選択）	秒	全身持久力・長距離走能力	男子 1500m、女子 1000mの走行時間
⑤ 2	20mシャトルラン（中学校選択）	回	全身持久力	20m走行の折り返し回数
⑥	50m走	秒	疾走能力	50mの疾走時間
⑦	立ち幅跳び	cm	筋パワー・跳躍能力	両脚で前方へ跳躍した直線距離
⑧ 1	ソフトボール投げ（小学校）	m	巧緻性・投球能力	ソフトボールを遠投した距離
⑧ 2	ハンドボール投げ（中学校）	m	巧緻性・投球能力	ハンドボールを遠投した距離
体力合計点		点	8種目の体力テスト成績を1点から10点に得点化して総和した体力テスト合計得点	
総合評価		5段階	8種目の体力テストをすべて実施した場合、体力テスト合計得点の良い方から、ABCDEの5段階で評定した体力の総合評価	

用語	解説
標本数	平均値、標準偏差、T得点を算出した人数
平均値	調査結果（テスト成績）の算術平均値で集団の尺度上の位置を示す。 「平均値＝調査結果の総和/標本数」
標準偏差	調査結果の個人差の大きさを示す。平均値±標準偏差の範囲内に全体の68%が入る。
	平均値±標準偏差の3倍の範囲内にほぼ全体が入る。
	「標準偏差＝分散の平方根、分散＝偏差平方和/（標本数-1）、 偏差平方和＝偏差の平方の総和、偏差＝調査結果－平均値」
T得点	全国平均値に対する相対的な位置を示し、単位や標準偏差が異なる調査結果を比較する。
	平均値50点、標準偏差10点の標準得点。「T得点＝50＋10×（調査結果－平均値）/標準偏差」

※全国の平均値に対する相対的な位置（T得点：全国平均を50.0と本市の差を次の通り表記）

- ① 2点以上……上回っている
- ② 1点以上～2点未満……やや上回っている
- ③ ±1点未満……ほぼ同程度
- ④ -1点以下～-2点未満……やや下回っている
- ⑤ -2点以下……下回っている

※全国平均との比較表現（%で示している箇所について、本市との差を次のとおり表記）

- ① 2ポイント以上……上回っている
- ② 1ポイント以上～2ポイント未満……やや上回っている
- ③ ±1ポイント未満……ほぼ同程度
- ④ -1ポイント以下～-2ポイント未満……やや下回っている
- ⑤ -2ポイント以下……下回っている

<標準体重と肥満度判定> 「児童・生徒の健康診断マニュアル（改訂版）」より

平成18年3月31日発行 財団法人日本保健会

- ・標準体重 = $a \times \text{身長 (cm)} - b$
- ・肥満度 (%) = $[\text{自分の体重 (kg)} - \text{標準体重 (kg)}] \div \text{標準体重 (kg)} \times 100$

標準体重を求める係数

年齢	男子		女子	
	a	b	a	b
9 (小4)	0.687	61.390	0.652	56.992
10 (小5)	0.752	70.461	0.730	68.091
11 (小6)	0.782	75.106	0.803	78.846
12 (中1)	0.783	75.642	0.796	76.934
13 (中2)	0.815	81.348	0.655	54.234
14 (中3)	0.832	83.695	0.594	43.264

判定基準

肥満度	判定
50%以上	高度肥満
30～49.9%	中等度肥満
20～29.9%	軽度肥満
-19.9～19.9%	普通
-29.9～-20%	やせ
-30%以下	高度やせ

Ⅱ 体格と肥満度に関する調査の結果と考察

※は肥満・痩身傾向の全国との差

小学校男子		R 4 登別	T 得点	R 5 登別	T 得点	R 6 登別	T 得点	全 国	北海道
身長 (cm)		140.03	50.8	139.51	49.8	140.07	50.9	139.53	140.12
体重 (kg)		37.57	52.6	35.67	50.4	35.66	50.6	35.16	36.88
肥満傾向児・ 痩身傾向児の出現率(%)	高度肥満	3.9		1.1		2.5 ※+1.2		1.3	2.8
	中等度肥満	5.9		9.3		4.3 ※-1.2		5.5	8.1
	軽度肥満	8.6		7.1		5.0 ※-1.5		6.5	8.6
	普通	79.6		79.1		84.5 ※+0.7		83.8	78.1
	やせ	2.0		3.3		3.7 ※+0.9		2.8	2.4
	高度やせ	0.0		0.0		0.0 ※-0.1		0.1	0.1

小学校女子		R 4 登別	T 得点	R 5 登別	T 得点	R 6 登別	T 得点	全 国	北海道
身長 (cm)		142.30	51.5	141.98	51.0	141.91	51.4	140.96	141.69
体重 (kg)		36.79	51.9	36.59	51.8	36.75	52.5	34.92	36.24
肥満傾向児・ 痩身傾向児の出現率(%)	高度肥満	1.3		2.9		4.0 ※+3.3		0.7	1.5
	中等度肥満	5.1		3.6		5.6 ※+1.9		3.7	6.2
	軽度肥満	5.7		9.4		5.6 ※+0.3		5.3	6.3
	普通	84.2		82.7		78.6 ※-8.6		87.2	82.9
	やせ	3.2		1.4		6.3 ※+3.3		3.0	3.0
	高度やせ	0.6		0.0		0.0 ※-0.1		0.1	0.1

中学校男子		R 4 登別	T 得点	R 5 登別	T 得点	R 6 登別	T 得点	全 国	北海道
身長 (cm)		161.13	50.1	161.74	50.8	162.0	50.9	161.29	162.15
体重 (kg)		51.46	51.0	50.33	50.1	52.89	52.7	50.10	52.00
肥満傾向児・ 痩身傾向児の出現 (%)	高度肥満	3.9		1.7		2.5 ※+1.1		1.4	2.5
	中等度肥満	2.0		5.1		5.7 ※+1.8		3.9	5.6
	軽度肥満	7.2		4.2		4.9 ※+0.1		4.8	5.5
	普通	80.9		85.6		84.4 ※-2.0		86.4	83.1
	やせ	5.3		3.4		2.5 ※-0.8		3.3	3.1
	高度やせ	0.7		0.0		0.0 ※-0.2		0.2	0.2

中学校女子		R 4 登別	T 得点	R 5 登別	T 得点	R 6 登別	T 得点	全 国	北海道
身長 (cm)		154.22	48.7	155.14	50.4	155.39	50.7	155.03	155.30
体重 (kg)		46.54	49.3	47.33	50.6	48.35	52.1	46.77	47.52
肥満傾向児・ 痩身傾向児の出現 (%)	高度肥満	0.7		0.0		0.9 ※+0.3		0.6	1.2
	中等度肥満	4.9		3.2		5.3 ※+2.9		2.4	3.4
	軽度肥満	2.8		5.6		4.4 ※+0.6		3.9	4.6
	普通	89.4		88.0		87.6 ※-1.2		88.8	86.5
	やせ	2.1		3.2		1.8 ※-2.3		4.1	4.1
	高度やせ	0.0		0.0		0.0 ※-0.3		0.3	0.3

<小学校：体格と肥満度について>

- 「身長」について、男子は全国平均とほぼ同程度であり、女子はやや上回っている。
- 「体重」について、男子は全国平均とほぼ同程度であり、女子は上回っている。
- 「肥満傾向」について、男子は全国平均をやや下回り、女子は上回っている。
- 「痩身傾向」について、男子はは全国平均とほぼ同程度であり、女子は上回っている。

<中学校：体格と肥満度について>

- 「身長」について、男女ともに全国平均とほぼ同程度である。
- 「体重」について、男女ともに全国平均を上回っている。
- 「肥満傾向」について、男女とも全国平均を上回っている。
- 「痩身傾向」について、男子は全国平均をやや下回り、女子は下回っている。

<考察と今後に向けて>

- 小学校女子は肥満傾向と痩身傾向がある。また、中学校男子、中学校女子は肥満傾向がある。このことから、運動不足や偏った食事をしていることがうかがえる。そのため、学校や家庭で「日常の運動の奨励」や「食育の指導」などの取組を継続していく必要がある。

Ⅲ 実技調査検査に関する調査の結果と考察

<実技調査結果（令和4年度～令和6年度）>

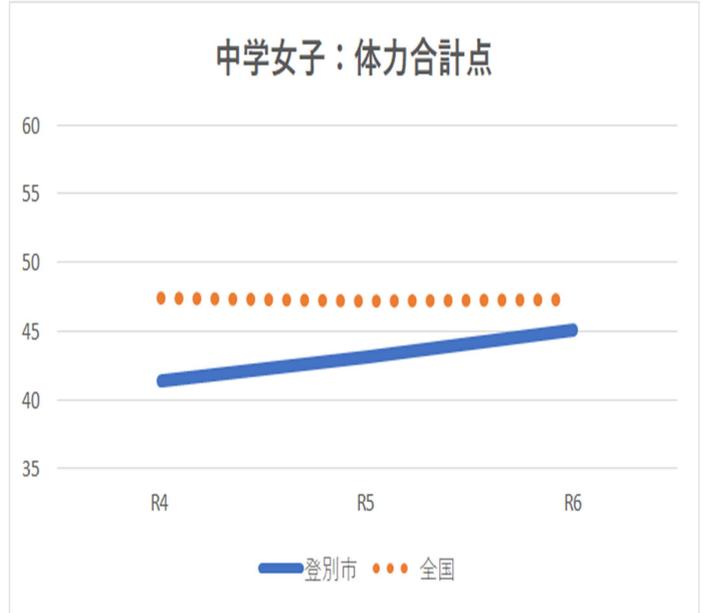
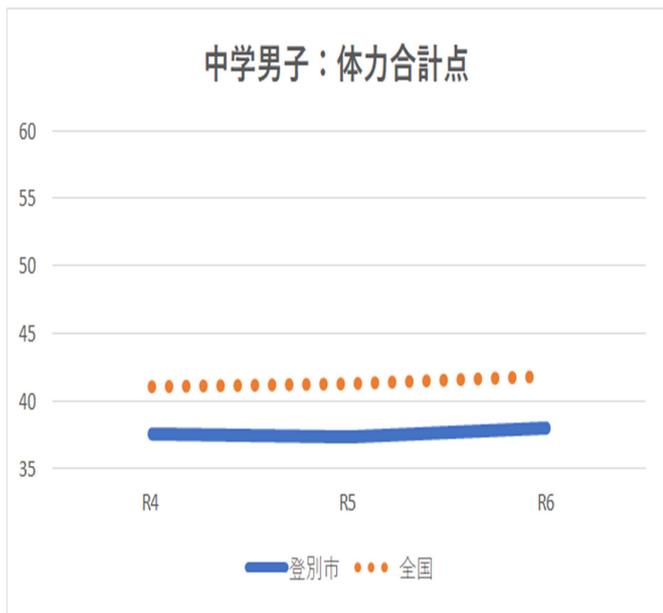
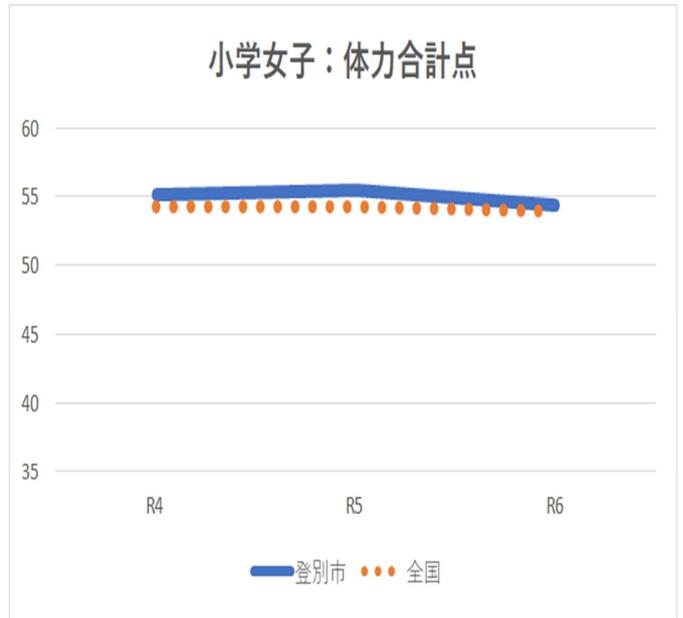
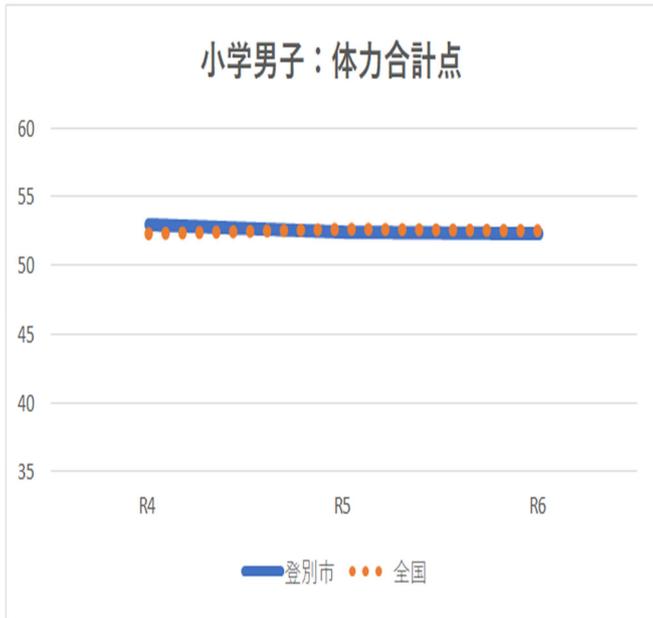
小学校男子	R 4 登別	T 得点	R 5 登別	T 得点	R 6 登別	T 得点	全国	北海道	
握力 (kg)	15.72	48.8	15.40	48.1	16.21	50.5	16.01	16.86	
上体起こし (回)	18.55	49.5	18.15	48.6	18.14	48.3	19.19	19.12	
長座体前屈 (cm)	36.26	52.8	35.87	52.2	35.90	52.4	33.79	34.15	
反復横とび (点)	42.74	52.8	42.02	51.7	41.52	51.0	40.66	41.83	
20 m シャトルラン (回)	46.92	50.5	49.99	51.4	45.29	49.2	46.90	46.33	
50m走 (秒)	9.94	46.7	9.84	46.8	9.73	48.0	9.50	9.77	
立ち幅とび (cm)	154.37	51.5	149.86	49.5	151.31	50.4	150.42	151.70	
ソフトボール投げ (m)	19.68	49.2	19.74	49.0	19.76	48.8	20.75	21.52	
体力合計点 (点)	52.96	50.7	52.40	49.8	52.28	49.7	52.53	52.85	
総合評価 (%)	A	12.3		10.8		13.3		10.3	12.7
	B	22.6		25.0		19.6		21.8	21.6
	C	28.8		25.6		26.6		32.0	30.3
	D	22.6		22.2		24.7		23.0	21.6
	E	13.7		16.5		15.8		12.9	13.8

小学校女子	R 4 登別	T 得点	R 5 登別	T 得点	R 6 登別	T 得点	全国	北海道	
握力 (kg)	16.04	49.9	16.30	50.7	16.48	51.8	15.77	16.55	
上体起こし (回)	17.30	48.7	17.17	48.4	17.50	48.8	18.16	18.05	
長座体前屈 (cm)	40.11	52.1	42.74	54.7	40.04	52.0	38.19	38.46	
反復横とび (点)	40.89	53.0	40.11	51.8	40.23	52.1	38.70	39.90	
20 m シャトルラン (回)	37.90	50.6	39.01	51.4	35.95	49.6	36.59	36.34	
50m走 (秒)	9.90	48.0	9.92	47.8	9.99	47.7	9.77	9.98	
立ち幅とび (cm)	148.98	52.0	145.12	50.4	144.64	50.7	143.13	144.28	
ソフトボール投げ (m)	13.87	51.5	14.01	51.6	13.46	50.7	13.15	13.86	
体力合計点 (点)	55.08	50.9	55.41	51.3	54.34	50.5	53.92	54.32	
総合評価 (%)	A	17.3		17.6		14.4		12.5	14.3
	B	24.0		25.2		28.8		23.3	24.6
	C	32.0		26.7		24.6		33.4	31.5
	D	20.0		25.2		22.9		22.0	20.6
	E	6.7		5.3		9.3		8.8	9.0

中学校男子	R 4 登別	T 得点	R 5 登別	T 得点	R 6 登別	T 得点	全国	北海道
握力 (kg)	27.76	48.3	28.03	48.6	27.35	47.8	28.95	29.57
上体起こし (回)	24.08	47.3	23.02	45.5	24.11	47.1	25.94	25.24
長座体前屈 (cm)	42.70	48.9	42.33	48.4	42.86	48.6	44.47	42.77
反復横とび (点)	48.61	47.3	46.65	44.8	49.16	47.5	51.51	49.95
持久走 (秒)	422.13	48.3	452.03	43.7	416.17	49.2	410.69	435.12
20 m シャトルラン (回)	71.51	47.5	74.14	48.5	78.36	49.8	78.98	74.78
50m走 (秒)	8.41	46.8	8.36	46.3	8.14	48.4	7.99	8.16
立ち幅とび (cm)	196.73	49.9	191.24	48.1	190.19	47.8	197.18	194.73
ハンドボール投げ (m)	18.62	47.3	18.87	47.6	17.93	45.8	20.57	20.31
体力合計点 (点)	37.62	46.8	37.39	46.4	38.10	46.5	41.86	40.49
総合評価 (%)	A	5.3	3.0		3.8		9.5	7.6
	B	16.7	18.0		23.8		25.2	23.3
	C	34.2	32.0		30.5		34.4	33.0
	D	27.2	31.0		28.6		22.4	25.2
	E	16.7	16.0		13.3		8.5	11.0

中学校女子	R 4 登別	T 得点	R 5 登別	T 得点	R 6 登別	T 得点	全国	北海道
握力 (kg)	21.38	46.1	22.60	48.8	22.47	48.5	23.18	23.03
上体起こし (回)	19.70	46.7	18.13	44.2	20.28	47.9	21.56	20.66
長座体前屈 (cm)	44.38	48.4	44.40	48.2	45.93	49.5	46.47	45.02
反復横とび (点)	41.92	44.7	43.36	46.9	43.79	47.7	45.65	43.99
持久走 (秒)	309.73	48.6	353.32	40.4	277.17	56.1	309.02	322.25
20 m シャトルラン (回)	44.16	46.2	48.15	48.7	49.22	49.3	50.67	46.33
50m走 (秒)	9.25	47.0	9.16	47.7	9.02	49.3	8.96	9.16
立ち幅とび (cm)	161.04	47.7	161.38	48.1	161.58	48.3	166.32	161.52
ハンドボール投げ (m)	11.73	48.3	11.59	48.0	11.86	48.7	12.40	12.16
体力合計点 (点)	41.42	44.8	43.11	46.5	45.11	48.1	47.37	44.93
総合評価 (%)	A	6.0	12.7		20.6		24.6	18.5
	B	29.3	30.4		24.3		28.5	26.3
	C	33.6	24.5		33.6		27.7	29.4
	D	20.7	23.5		19.6		15.3	19.7
	E	10.3	8.8		1.9		3.9	6.0

<実技調査結果経年比較（令和4年度～令和6年度）>



<小学校：実技調査結果について>

- 男子について、「長座体前屈」は全国平均を上回り、「反復横とび」はやや上回り、「握力」「20mシャトルラン」「立ち幅とび」は全国平均とほぼ同程度であり、「上体起こし」「ソフトボール投げ」はやや下回り、「50m走」は全国平均を下回っている。
- 女子について、「長座体前屈」「反復横とび」は全国平均を上回り、「握力」は全国平均をやや上回り、「20mシャトルラン」「立ち幅とび」「ソフトボール投げ」は全国平均とほぼ同程度であり、「上体起こし」は全国平均をやや下回り、「50m走」は全国平均を下回っている。
- 男女とも体力合計点は、全国平均とほぼ同程度である。

<中学校：実技調査結果について>

- 男子について、「持久走」「20mシャトルラン」は全国平均とほぼ同程度であり、「長座体前屈」「50m走」は全国平均をやや下回り、「握力」「上体起こし」「反復横とび」「立ち幅とび」「ハンドボール投げ」は全国平均を下回っている。
- 女子について、「持久走」は全国平均を上回り、「長座体前屈」「20mシャトルラン」「50m走」は全国平均とほぼ同程度であり、「握力」「立ち幅とび」「ハンドボール投げ」は全国平均をやや下回り、「上体起こし」「反復横とび」は全国平均を下回っている。
- 男子の体力合計点は、全国平均を下回っており、女子の体力合計点は、全国平均をやや下回っている。

<考察と今後に向けて>

- 小学生は、「長座体前屈」について全国平均を上回っていることから、柔軟性が備わっていることがうかがえる。このことから、ストレッチを継続して行うなど、柔軟性を維持することが大切である。
- 小学生は、「50m走」について全国平均を下回っていることから、疾走能力が低いことがうかがえる。このことから、例えば、疾走能力を向上させる取組として、個人の現状に基づいた目標を明確に設定して、計画的に粘り強く疾走能力を高めていくことが考えられる。その際、タブレット端末を活用して自己の走り方を分析したり、友だちと一緒によりよい走り方を考えたりするなど、各学校でのICTを活用した効果的な授業改善が求められる。また、定期的にタイムを計測し、自らの成長を実感することで、モチベーションを維持することも大切である。
- 中学生は、全般的に全国平均を下回ったり、やや下回ったりしている。中でも男女共通して「上体起こし」「反復横とび」は全国平均を下回っていることから、筋パワー・筋持久力が低く、敏捷性が備わっていないことがうかがえる。このことから、腹筋や体幹、持久力を高める取組を計画的・継続的に進めていく必要がある。その際、小学生の「50m走」の改善例として紹介したように定期的に記録を計測し、自らの成長を実感できる取組やウォーミングアップで高めたい筋力を意図的に使う取組など効果的に体力を高めていくことが大切である。
- 課題を改善するため、家庭と連携し日常生活全体を通じて、児童生徒が運動する機会を少しずつでも増やしていくとともに、運動が好きで運動に親しむ児童生徒を増やすような取組を進めていく必要がある。また、バランスのよい食事と適切な睡眠時間の確保が健康な体をつくることになることから、規則正しい生活習慣の確立の大切さについて児童生徒や保護者に繰り返し啓発していくことが大切である。

IV-1 児童生徒質問紙調査の結果

		運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツをすることが好きですか。			
		好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
小学校男子	全国	73.0%	20.2%	4.5%	2.2%
	北海道	74.0%	19.5%	4.2%	2.2%
	登別市	73.2%	20.7%	4.3%	1.8%
小学校女子	全国	54.8%	31.4%	9.5%	4.3%
	北海道	57.7%	29.3%	8.8%	4.2%
	登別市	61.9%	23.0%	11.9%	3.2%
中学校男子	全国	65.5%	25.1%	6.3%	3.2%
	北海道	69.0%	22.1%	5.6%	3.2%
	登別市	69.5%	21.1%	5.5%	3.9%
中学校女子	全国	43.2%	33.7%	15.2%	8.0%
	北海道	44.1%	32.5%	14.8%	8.6%
	登別市	45.9%	28.7%	17.2%	8.2%

		運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツをすることは大切ですか。			
		大切	やや大切	あまり大切ではない	大切ではない
小学校男子	全国	71.6%	22.2%	4.9%	1.3%
	北海道	75.4%	19.5%	4.0%	1.1%
	登別市	70.7%	25.6%	2.4%	1.2%
小学校女子	全国	59.0%	31.4%	8.0%	1.6%
	北海道	65.7%	27.4%	5.7%	1.2%
	登別市	66.7%	29.4%	3.2%	0.8%
中学校男子	全国	68.2%	24.7%	5.5%	1.6%
	北海道	70.8%	22.3%	5.4%	1.4%
	登別市	75.0%	17.2%	5.5%	2.3%
中学校女子	全国	49.3%	36.2%	11.8%	2.7%
	北海道	50.5%	35.3%	11.7%	2.4%
	登別市	54.9%	30.3%	13.1%	1.6%

		朝食は毎日食べますか。(学校が休みの日もふくめます)			
		毎日食べる	食べない日もある	食べない日が多い	食べない
小学校男子	全国	81.3%	14.6%	3.0%	1.1%
	北海道	74.2%	19.8%	4.6%	1.3%
	登別市	69.5%	26.8%	3.7%	0.0%
小学校女子	全国	79.5%	16.7%	3.0%	0.8%
	北海道	71.0%	23.2%	4.5%	1.3%
	登別市	69.0%	28.6%	1.6%	0.8%
中学校男子	全国	81.6%	12.3%	3.9%	2.1%
	北海道	77.3%	14.7%	5.2%	2.8%
	登別市	75.8%	18.8%	3.9%	1.6%
中学校女子	全国	74.4%	18.8%	4.8%	2.0%
	北海道	67.0%	23.4%	6.7%	2.9%
	登別市	72.1%	18.9%	4.9%	4.1%

		毎日どのくらい寝ていますか。					
		10時間以上	9時間以上 10時間未満	8時間以上9 時間未満	7時間以上8 時間未満	6時間以上7 時間未満	6時間未満
小学校男子	全国	11.0%	27.6%	30.8%	19.4%	7.9%	3.3%
	北海道	12.8%	30.2%	28.3%	17.2%	8.2%	3.4%
	登別市	15.2%	31.7%	25.6%	17.1%	7.3%	3.0%
小学校女子	全国	10.3%	29.7%	31.7%	18.4%	7.5%	2.4%
	北海道	11.2%	32.4%	29.0%	17.1%	7.7%	2.6%
	登別市	14.3%	36.5%	31.0%	11.1%	5.6%	1.6%
中学校男子	全国	2.8%	8.4%	25.1%	36.2%	20.9%	6.7%
	北海道	3.0%	10.7%	25.2%	33.5%	20.2%	7.4%
	登別市	3.1%	14.1%	25.0%	37.5%	12.5%	7.8%
中学校女子	全国	1.6%	6.1%	19.7%	34.6%	28.3%	9.5%
	北海道	1.8%	7.7%	21.6%	32.8%	26.3%	9.8%
	登別市	3.3%	7.4%	19.8%	38.8%	25.6%	5.0%

※推奨睡眠時間：小学生9～12時間・中学生8～10時間（厚生労働省HP「健康づくりのための睡眠指針の改定について(案)」より抜粋

		平日（月～金曜日）、学習以外で、1日にどのくらいの時間、テレビやDVD、ゲーム機、スマートフォン、パソコンなどの画面を見ていますか。						
		5時間以上	4時間以上 5時間未満	3時間以上 4時間未満	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	1時間未満	全く見ない
小学校 男子	全国	18.7%	11.0%	14.7%	20.4%	21.9%	11.5%	1.7%
	北海道	23.4%	12.8%	15.5%	20.0%	18.2%	8.9%	1.2%
	登別市	23.3%	18.4%	12.3%	23.3%	13.5%	8.6%	0.6%
小学校 女子	全国	14.6%	10.4%	13.8%	19.6%	23.4%	15.9%	2.2%
	北海道	19.7%	13.0%	15.4%	18.9%	19.6%	11.9%	1.4%
	登別市	18.3%	14.3%	22.2%	16.7%	21.4%	6.3%	0.8%
中学校 男子	全国	17.6%	12.0%	20.5%	26.5%	18.3%	4.5%	0.6%
	北海道	22.3%	13.8%	21.4%	24.1%	14.3%	3.5%	0.6%
	登別市	16.7%	11.1%	32.5%	23.8%	15.1%	0.8%	0.0%
中学校 女子	全国	16.4%	12.1%	20.7%	26.1%	18.6%	5.6%	0.5%
	北海道	20.4%	13.8%	22.4%	24.3%	14.5%	4.2%	0.4%
	登別市	16.7%	11.7%	17.5%	37.5%	15.0%	1.7%	0.0%

		体育の授業で、目標（ねらい・めあて）を意識して学習することで、できたり、わかったりすることがありますか。			
		いつもある	だいたいある	あまりない	全くない
小学校男子	全国	34.9%	48.8%	13.5%	2.8%
	北海道	35.9%	48.4%	13.0%	2.7%
	登別市	33.5%	52.4%	12.2%	1.8%
小学校女子	全国	26.7%	55.8%	15.3%	2.2%
	北海道	26.0%	57.0%	14.9%	2.1%
	登別市	28.6%	57.1%	11.9%	2.4%
中学校男子	全国	32.9%	54.4%	11.0%	1.7%
	北海道	31.2%	56.0%	11.1%	1.7%
	登別市	39.8%	50.8%	9.4%	0.0%
中学校女子	全国	25.2%	59.7%	13.5%	1.6%
	北海道	23.4%	61.5%	13.5%	1.6%
	登別市	31.1%	58.2%	10.7%	0.0%

<小学校：児童質問紙調査結果について>

- 「運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツをすることは好きである」と肯定的に回答した児童の割合が、男子は全国平均とほぼ同程度であり、女子は全国平均をやや下回っている。
- 「運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツをすることが大切である」と肯定的に回答した児童の割合が、男女とも全国平均を上回っている。
- 「朝食を毎日食べる」と回答した児童の割合が、男女とも全国平均を下回っている。
- 「毎日9時間以上寝ている」と回答した児童の割合が、男女とも全国平均を上回っている。
- 「平日（月～金曜日）、学習以外で、テレビやDVD、ゲーム機、スマートフォン、パソコンなどの画面を1日2時間以上見ている」と回答した児童の割合が、男女とも全国平均を上回っている。
- 「体育の授業で、目標（ねらい・めあて）を意識して学習することで、できたり、わかったりすることがある」と肯定的に回答した児童の割合が、男女とも全国平均を上回っている。

<中学校：生徒質問紙調査結果について>

- 「運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツをすることは好きである」と肯定的に回答した生徒の割合が、男子は全国平均とほぼ同程度であるが、女子は全国平均を下回っている。
- 「運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツをすることが大切である」と肯定的に回答した生徒の割合が、男女とも全国平均とほぼ同程度である。
- 「朝食を毎日食べる」と回答した生徒の割合が、男女とも全国平均を下回っている。
- 「毎日8時間以上寝ている」と回答した生徒の割合が、男女とも全国平均を上回っている。
- 「平日（月～金曜日）、学習以外で、テレビやDVD、ゲーム機、スマートフォン、パソコンなどの画面を1日2時間以上見ている」と回答した生徒の割合が、男女とも全国平均を上回っている。
- 「体育の授業で、目標（ねらい・めあて）を意識して学習することで、できたり、わかったりすることがある」と肯定的に回答した生徒の割合が、男女とも全国平均を上回っている。

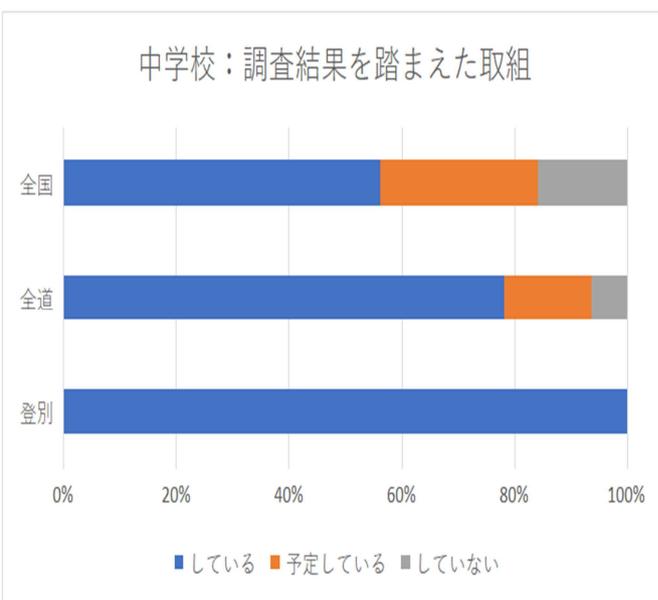
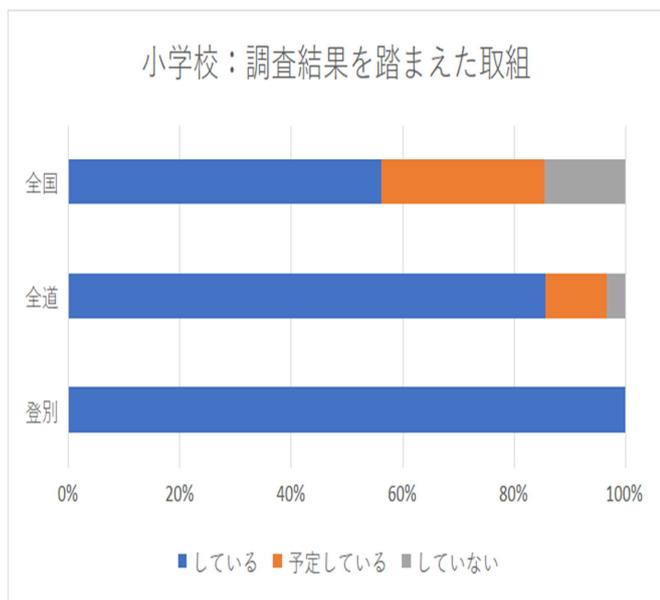
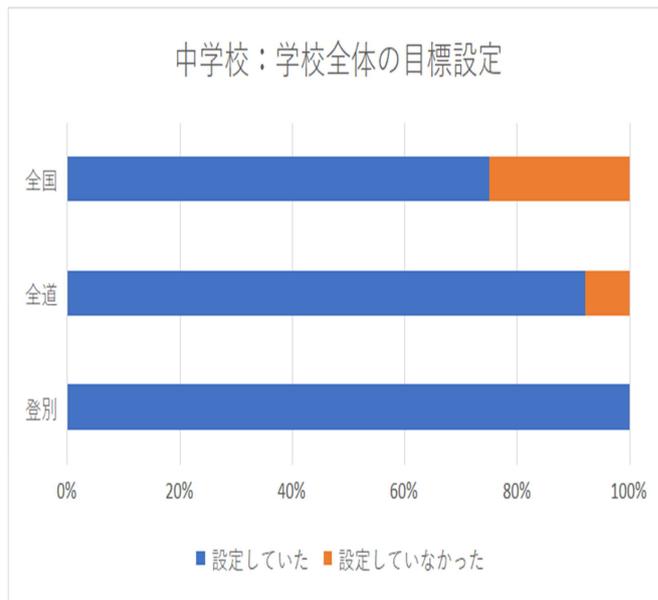
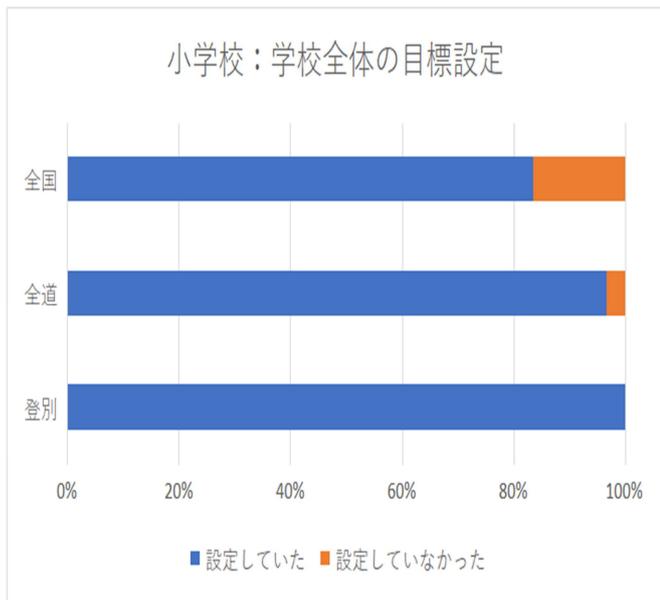
<考察と今後に向けて>

- 「運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツをすることは好きである」と肯定的に回答した女子児童生徒の割合が、全国平均よりも低い傾向であることから、スモールステップの目標設定や成功体験を積み重ねる取組を通して、達成感を実感したり、向上心を高めたりするなど、運動が好きになるよう働きかけることが大切である。
- 「運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツをすることは大切である」と回答した児童の割合が全国平均を上回っていることから、健康維持や体力向上の必要性について理解していることがうかがえる。
- 「朝食を毎日食べる」と回答した児童生徒の割合が全国平均を下回っていることから、規則正しい生活習慣が身につけていないことがうかがえる。このことから、朝食を食べた日と食べない日の体や心の状態を思い起こしたり、朝食で食べたもの（栄養）が体にどのようなメリットがあるのかについて学んだりするなど、児童生徒自身が朝食の大切さについて自分事として捉え、実生活での実践意欲を高める指導を継続する必要がある。また、生活習慣の改善は家庭の協力が不可欠であることから、家庭への働きかけを継続していくことが大切である。
- 厚生労働省が推奨する小学生9時間以上、中学生8時間以上睡眠をとっている児童生徒の割合が全国

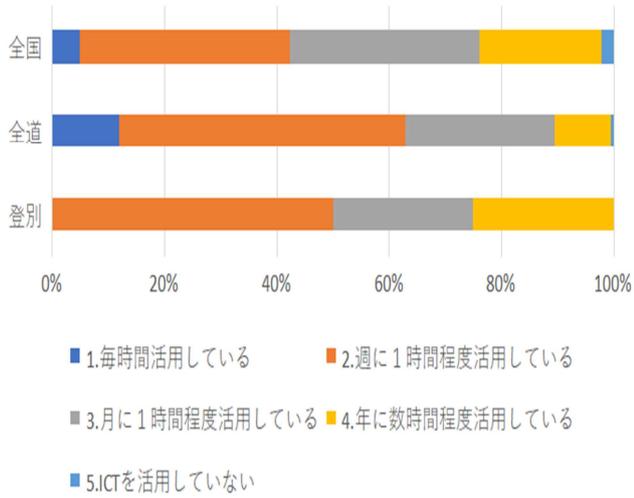
平均を上回っていることから、引き続き睡眠の大切さを指導していくことが大切である。

- 「平日（月～金曜日）、学習以外で、テレビやDVD、ゲーム機、スマートフォン、パソコンなどの画面を1日2時間以上見ている」と回答した児童生徒の割合が、全国平均を上回っていることから、運動や学習時間が短くなっていることがうかがえる。このことから、長時間の画面視聴は、体力や学力の低下につながることで、成長期の健康への影響があること、家族や友だちとのコミュニケーション機会が減ることによる対人関係への影響があることなどについて、児童生徒や保護者が理解し、生活習慣を改善するよう啓発を継続していく必要がある。
- 「体育の授業で、目標（ねらい・めあて）を意識して学習することで、できたり、わかったりすることがある」と肯定的に回答した児童生徒の割合が高いことから、各学校が目標を立て、それを意識させた指導をしていることがうかがえる。引き続き、明確な課題設定と課題を意識させる授業を継続することが大切である。

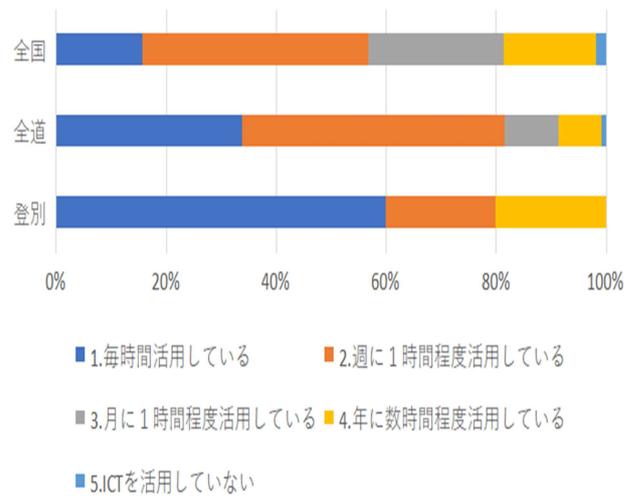
V 学校質問紙調査の結果



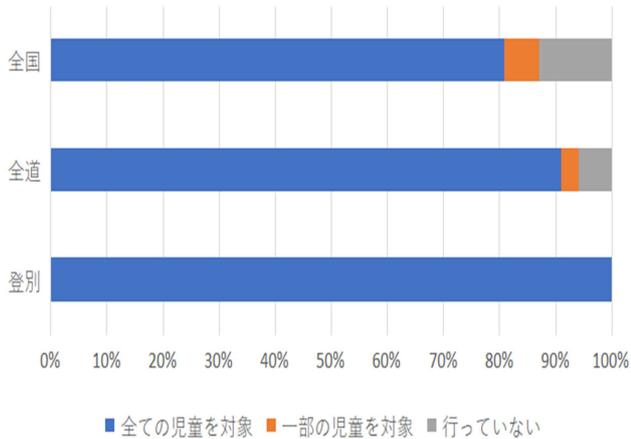
小学校：体育授業でのICT活用頻度



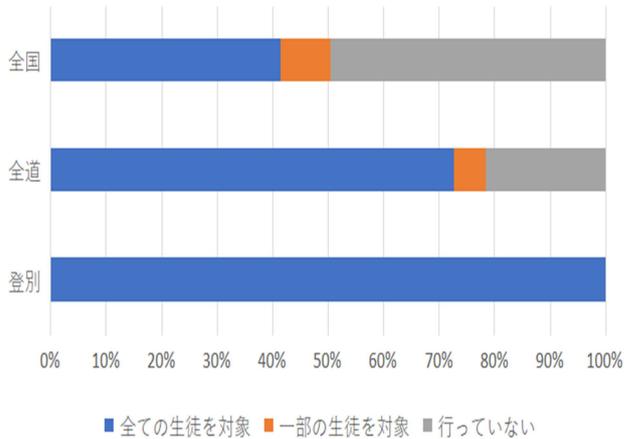
中学校：体育授業でのICT活用頻度



小学校：体育以外の体力向上の取組



中学校：体育以外の体力向上の取組



<学校の取組結果について>

- 学校全体の体力・運動能力向上の目標設定している学校の割合は、小中学校とも100%であり全国平均を上回っている。
- 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果を踏まえた取組を行っている学校の割合は、小中学校とも100%であり、全国平均を上回っている。
- 体育の授業でのICTの活用状況について、毎時間活用している学校の割合は、中学校で60%であり全国平均を上回っているが、小学校は0%であり、全国平均と比べて活用頻度が少ない。
- 体育の授業以外で体力向上の取組を行っている学校の割合は、小中学校とも100%であり全国平均を上回っている。

<考察と今後に向けて>

- 体力向上に係る「目標設定」や「調査結果を踏まえた取組」「体育の授業以外での体力向上の取組」を全ての小中学校で実施していることから、計画的に体力向上について取り組んでいることがうかがえる。このことから、各学校では引き続き、取組による成果や課題を分析し、体力向上の取組を継続していくことが大切である。
- 体育の授業でのICT活用について、中学校での活用が進んでいるが、小学校ではあまり活用が進んでいないことがうかがえる。このことから、学校間で連携し、活用が進んでいる学校の取組を共有し効果的な活用が広まっていくことが望ましい。